

令和7年9月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）県立高等学校の存続及び充実について

生徒から選ばれる県立高校として存続させるため、特色ある教育活動の展開、教育施設の計画的整備など、魅力ある学校づくりを積極的に行っていく必要があると考えるが、教育長の所見を伺う。

また、有能な教員を確保し質の高い教育を維持するため、教員の研修時間の確保や働き方改革の推進などの体制整備が必要と考えるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

県立高等学校には、

- ・ 生徒の多様な能力、適性、興味・関心等に応じた学びを実現すること、
- ・ 専門的な知識や技術を身に付けさせたい生徒や、働きながら学びたい生徒にも必要な教育を提供すること

などの役割があり、県内各地でこうした高校教育を受ける機会を確保し、県全体の教育水準の維持・向上を図るため、適正な配置と必要となる教育環境の整備を行い、生徒から選ばれる魅力ある高校づくりにしっかりと取り組んでいく必要があると考えております。

このため、これまで

- ・ 各学校が育成を目指す生徒像と資質・能力の明確化や、多様な生徒の状況を踏まえた教育課程の編成、
- ・ 学校施設の安全性・機能性を向上させるための長寿命化改修や、トイレの洋式化、デジタル化に対応した産業教育設備等の整備

など、様々な取組を行ってまいりました。

今後、少子化に伴う生徒数の減少や、高校授業料無償化の影響が顕在化する見込みであることから、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を図る教育活動及び教育環境の充実などの生徒・保護者のニーズや、今後の地域・産業の発展を支える人材を育成するといった社会のニーズを踏まえて、県立高校の特色化・魅力化を図るとともに、必要な施設設備の整備を進め、それぞれの地域において、生徒から選ばれる学校となるよう、全力で取り組んでまいります。

また、県立高校の特色化・魅力化を図るためには、教員一人一人が、その力を最大限に発揮することが不可欠であることから、

- ・ 教員の資質・能力や専門性の向上に向けた取組を着実に進めるとともに、
- ・ 業務の精選や、ICTの更なる活用による効率化等の、働き方改革をより一層進めるなど、

教員が心身ともに健康で、本来担うべき業務に専念し、学び続けることのできる環境の整備に、しっかりと取り組んでまいります。